

港南区内の市立保育園における食物アレルギー対応について

港南区内の市立保育園において、食物アレルギーがあり乳・乳製品・小麦除去対応をしている3歳児クラスの男児1名に、昼食を提供したところ、顔や首の皮膚に湿疹、咳込む症状が出たため、投薬・救急搬送等、必要な対応を行いました。

その後、当園児は、呼吸困難などの重篤な症状には至らず、現在は回復しています。

1 概要

(1) 発生場所

大久保保育園（港南区大久保2-28-27）（園長 田中 紀子 園児：108名）

(2) 発生日時

令和2年2月19日（水） 12時20分

(3) 発生状況

食物アレルギーがあり乳・乳製品・小麦除去対応をしている3歳児クラスの男児Aさん（アナフィラキシーショックの既往歴あり）に、乳・乳製品・小麦除去対応の昼食を提供した後、顔や首の皮膚に湿疹ほか咳込む症状が出たため、Aさん用の薬を内服させ、救急車を手配し、医療機関へ搬送しました。

なお、当施設の調理室は改修工事中であったため、2月12日（水）から仕出し弁当を提供していました。

2 経過

2月19日（水）

11:00 保育園に弁当が届く。

11:05 主任保育士ほか2名が、Aさんの献立表と弁当の中身を目視で確認し、Aさん用の弁当を、Aさんの個人用のトレーに置き、配食の準備をする。

Aさんへ提供する前に、園長が、通常食のほかAさん用を含むアレルギー対応食用の弁当の検食をする。

11:35 Aさんが、弁当を食べる。

12:20 Aさんの顔や首に湿疹があらわれ、咳込む。

12:25 保護者に連絡するとともに、Aさん用の薬を内服させ、医療機関へ救急搬送する。

その後、呼吸困難などの重篤な症状には至らず、現在は回復している。

3 原因究明

本市食品衛生関係部署が、アレルギー物質の混入経路等について、関連施設に対して調査を行っています。

4 今後の対応

原因究明を進めつつ、適切な対応策を講じるとともに、こども青少年局保育・教育人材課を通して、全保育園に発生状況を情報提供し、再発防止に努めます。

お問合せ先

港南区こども家庭支援課長 平野 千景 Tel 045-847-8408